

## 2. 病院における臨床検査・放射線・薬剤部門強化

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

### 【現地の状況やニーズなどの背景情報】

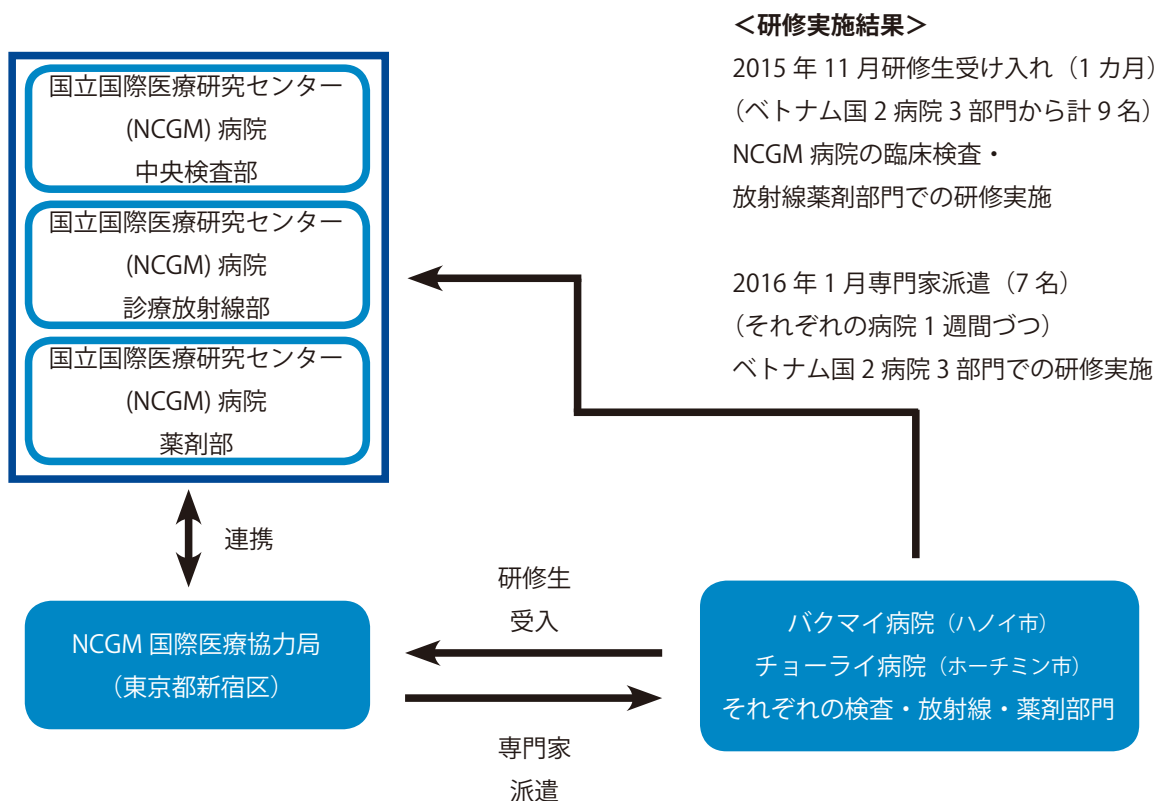
ベトナム国の医療現場では、病院の質・管理が喫急の課題となっており、そのため医師や看護師を対象とした研修が多数行われてきた。一方で病院の臨床検査・放射線・薬剤部門に対する研修の機会は少なかった。これらの三部門に適切な研修を行うことにより、三部門の能力強化を図り、病院の質・管理の向上に寄与することを目的とする。

### 【活動内容】

ベトナム国ハノイ市バックマイ病院とホーチミン市チョーライ病院それぞれの臨床検査・放射線・薬剤の三部門から研修生を NCGM 病院の臨床検査・放射線・薬剤の三部門に招聘し、本邦研修を行った。NCGM 病院の臨床検査・放射線・薬剤の三部門から専門家をベトナム国ハノイ市バックマイ病院とホーチミン市チョーライ病院に派遣し、それぞれの臨床検査・放射線・薬剤の三部門で研修を行った。

### 【期待される成果や波及効果等】

三部門の能力が向上することで、より質の担保された、より安全な医療を病院が提供できるようになった。ベトナム国の病院の臨床検査・放射線・薬剤部門と関係を構築できた。



## ベトナム国 病院における臨床検査・放射線・薬剤部門強化 中央検査部門

### ①事業結果概要

昨年NCGMで研修した内容のフォローアップを行い、ISO 15189の品質管理、精度管理について助言や提案を行った。また、次年度以降の協力事項について協議した。

### ②事業の成果

品質管理上の問題点として検査室で改善できる事、病院として取り組むべき事について協議ができた。

### ③今後の課題

PDCAサイクル<sup>\*</sup>を活用した継続的な改善活動、検査結果の判断能力、遺伝子検査の技術指導について研修協力を求められた。



\* PDCA サイクル：Plan・Do・Check・Act cycle

## ベトナム国 病院における臨床検査・放射線・薬剤部門強化 放射線部門

- CT・MRI装置は、NCGMと引けを取らない装置（スペックが同程度）を設置しているが、装置の維持管理（点検）、画質（ノイズ等）の評価、線量の最適化（被ばく）に対する意識が不足している。
- 被ばく国として医療被ばくの適正化を重点に、ベトナム放射線従事者へQC/QA（Quality Control / Quality Assurance）の維持、検証の重要性を研修する。
- ベトナムへNCGM職員を派遣した際、NCGMで研修した内容がわかり易く意欲的な伝達講習がなされている事を確認、NCGM職員の現地講習での補足に対する活発な意見交換で重要性が理解され、今後の人材育成に向けた交流の必要性が結論付けされた。今後の追加内容として画質の向上をより追求した研修、乳腺撮影に関する知識、技術の研修も必要であるとする。



## ベトナム国 病院における臨床検査 放射線 薬剤部門強化 薬剤部門

### ①事業結果概要

昨年NCGMで研修した各施設のフォローアップを行い、状況把握をしたうえで助言や提案を行った。また、次年度以降の協力事項について協議した。

### ②事業の成果

問題点の情報共有とその具体的な対策について協議ができた。

### ③今後の課題

全ての問題点を解決することは時間的に制限があるため、まずは無菌調製や医薬品管理方法に対象を絞って研修協力する必要性がある。

